

研究計画書

ゼミ名	高ゼミⅡ	チーム名	効用ンス
タイトル	プロ野球のビジネス戦略		
テーマ群	e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>「研究背景」</p> <p>2020 年コロナウイルスの影響を受け、東京五輪、高校野球、高校総体、など多くのスポーツ選手、学生の活躍の場が奪われた。また、試合が開催されるも無観客や入場制限などの規制をされているためスポーツ界全体の収益は減少傾向にある。日本のスポーツ界は収益を上げるため、新しいサービスの提供を急速に迫られ、私たち消費者も新しい消費方法を考えていかなければならない。そこで私たちは、市場規模の大きい野球を例にコロナ禍でも安定した収益を得た MLB(アメリカプロ野球)と NPB(日本プロ野球)の収益構造を比較し研究する。</p> <p>「研究内容」</p> <p>まず MLB がコロナ禍でも安定した収益を得られたことを示す。そこで、NPB と MLB の収益構造に注目し、収益構造の一つである「放映権料」について様々な視点から比較し NPB にとってより良い放映権ビジネスとは何かを考察する。また、NPB におけるインターネット配信ビジネスの現状を調べ、今後インターネット配信ビジネスが球団経営にもたらす影響を考察する。さらに、他スポーツにおけるプロリーグの収益構造との比較や収益を増大させるための取り組みを参考に今後 NPB 全体の収益を増加させることのできる球団経営の在り方を提示する。</p> <p>「期待される効果」</p> <p>今回のコロナ禍のような緊急事態時の収益減少を防ぎ、日本のスポーツ界の活性化につながるプロ野球の最適な収益構造を提示する。これらが実現すれば、各球団の親会社の収益増加や他の日本スポーツの収益構造改善につながり、日本経済に良い影響を与えることができる。</p>		